

とスター通信

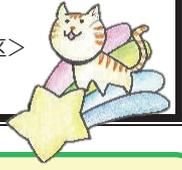
★第8号=6月議会編★

発行日：2025年（令和7年）7月

発行：星 恵子後援会

石川町字松木下 19の2<猫啼区>

TEL&FAX：0247-26-1473



流れ星の4つの尾

- いのち
- からだ
- こころ
- 平和



石川町の公式アカウントです。ぜひアクセスしてみてください。

石川町民の歌

作詞 岡部俊夫
作曲 岡部富士夫

ロゴマークの原画を、石川中学校の美術部の皆さんが制作してくれました。

一般質問では、「石川町民の歌」を通して、さらに合併70周年を盛り上げてはどうかと提案する予定でした。

- 一、阿武隈の山なみ青くめぐらすところ
杉木立豊かにのびて 三芦の城跡 昔しのばす
あゝ歴史のまち いしかわ石川 いしかわわが町
- 二、脈々と自由のいづき みなぎるところ
七重八重 高田の桜 薄紅に まちをいろどる
あゝこころの町 いしかわ石川 いしかわわが町
- 三、母畑ダム 大地くまなく うるおすところ
湯の香満ち うぐいす歌う 楽しいふる里 幸せここに
あゝのびゆく町 いしかわ石川 わが町

=角田市議会議員との交流=

5月8日（木）、姉妹都市の角田市議員の皆さんが来町、石川町議員と交流しました。午前中は、4月にオープンしたイシニクルを視察。改めて石川町の歴史や鉱物などに触れていただきました。

午後は、ボッチャで親善交流し汗を流しました。角田市の黒須市長や首藤町長、平山副町長も参加。星議員は、開会式の進行を務めました。団体戦では、石川町議員が優勝し、個人戦では、「初めて挑戦した」と言いながら、角田市議会議員の皆さんが大活躍しました。

猫啼温泉「井筒屋」で汗を流し、懇親会の後、角田市の皆さんは、バスで石川町を後にしました。



=中学生議会=

5月16日（金）午後2時から、議場において石川中3年生を対象に主権者教育「中学生議会」が行われました。定例会の一般質問と同じ形で、6人の中学生議員が通告に基づいて質問、町長が答弁を行いました。

質問の内容は、人口減少対策、医療の充実、ミニバスによる移動手段の確保、旧野木沢小や空き家の利活用、道の駅の整備、創業者への支援などでした。

傍聴席の3年生も、真剣に耳を傾けていました。



星のつぶやき



★体調不良による緊急入院のため、定例会2日目から欠席せざるをえなくなり、ご心配とご迷惑をおかけいたしました。一般質問も通告したものの行えませんでした、そのため8号は2ページ構成となりました。

★4月から配置（石川小に週3日、石川中に週2日）された、学校司書の先生に会いに行きました。ちょうど本を借りに来た3年生に、「図書室に先生がいるけど、どうですか？」と聞いてみました。返ってきたのは、満面の笑みと「めちゃ嬉しいです」の言葉。私も嬉しかったです。

★今年の相馬野馬追祭では、「20歳未満の未婚者」という女性騎馬の条件をなくしました。真夏の開催の回避に続いての変更です。①しきたりを変えないことで「伝統」を守るのか、②「伝統」をつなぐことを大切に考えて変革していくのか… 野馬追祭は②を選びました。神旗争奪戦で旗を手にした女性騎馬に、会場から温かい拍手が送られていました。地方から若い女性が離れていく状況が続く中、慣習の見直しに一石を投じました。



4月20日、総合運動公園多目的広場において、消防団の令和7年度春季検閲式が行われました。石川町の消防団員は、現在379人で、新入団員は9人でした。

首藤町長はあいさつの中で、「消防団のあり方を見直しており、処遇改善も考えていきたい」と述べました。

春先に全国で相次いだ大規模な林野火災、消防団員による決死の消火活動が記憶に新しいです。

消防団の皆さんに感謝しつつ、火災予防、ハザードマップや避難グッズの確認などを心がけましょう。

＝子どもたちの明るい未来のために＝

私の子ども時代は、家の仕事を手伝いながらも、自然の中でたくさん遊んで日が暮れる毎日でした。一方で、銀鱈の煮付けは、めったに食べられないごちそうでした。母は、自分は食べずに、私たちに食べさせてくれました。子どもながらに家計の大変さが分かり、物を買ってほしいとねだった記憶があまりありません。

大人になって、物質的な豊かさはなくても、自由な時間がたっぷりとあり、大切にされていることを無意識のうちに感じ、精神的に満たされていたと感じます。

5月のユニセフ発表の「子どもの幸福度ランキング」で、日本は、身体的健康度は高いものの、精神的幸福度は低い値でした。不登校の子どもやいじめの認知件数が増えていること、子どもの自死率が高くなっているからだといわれます。子どもが安心して自由でいられる時間や居場所が、社会の中には必要であり、それを保障するのは、私たちおとなの責任です。(K.Y)



5月18日、統合後最初の石川小学校の運動会が開催されました。雨で順延になったものの、当日は好天に恵まれ、子どもたちの歓声が町民グラウンドに響いていました。

今年は、紅白の得点が拮抗し、リレーで勝敗が決まるという大接戦でした。入学から約2か月の1年生も、最後まで一所けん命でした。

2023年度のごみ排出量、福島県はワースト2位

福島県民一人の1日あたりのごみの量は、968g

前年より53g減ったものの、残念ながら目標の100gには届きませんでした。ベスト1位は京都府。一人当たり749g、その差は約220g、差が大きいですね。

4月から「プラ」マークのない製品プラスチックの回収が始まりました。新聞を入れて配達されるビニール袋や、「プラ」マークのないビニール袋などはどうしていますか？ 燃えるごみに出している方も多いのでは？ **施設組合に聞いたところ、「製品プラスチックで出してOK！」**とのこと。中身が見えるよう、透明か半透明の袋に入れて出してください。

なお、「小」より容量の少ないごみ袋がほしいという要望に応じて、「最小」のごみ袋が販売されています。

星議員も、郡山駅前で力強く街頭演説！



6/1、社民党副党首の大橋ゆうこさんが来県。前段で、星議員がマイクを握りました。その後、大橋さんが、労働者を取り巻く状況や、生活実態をもとに、参議院選挙への支援を訴えました。

参議院選挙は、新しい投票所で1票を！

おもしろ発見！



左のネコたちの愛らしさ、右のタヌキの愛嬌のある表情。どちらもかわいさ満点です。